

第45回宗谷複式教育研究大会礼文大会について

宗谷複式教育研究連盟 情宣部作成

9月29日（土）、宗谷複式教育研究大会（宗谷管内教育研究大会 兼 礼文町教育研究大会）が礼文町立香深井小学校で開催され、44名の参加者の下、3つの授業が公開されました。いずれも、2つの研究内容「個に応じた指導・支援の工夫」「子どもたちが学びを深めていくための指導の在り方の工夫」がよく組み込まれた授業で、次のことが徹底されていました。

- 「ヒントカード・ひらめきカード」の活用
- 自学や思考を促す手段として、タブレットを活用
- 子どもたちで話し合いを進める場面の設定
- 他者を意識し、自分の考えを伝える場面の設定

そろえる指導が学校全体で進められており、授業の中での個人思考・集団思考が円滑に行われていました。3学級とも、とても落ち着いた態度で児童は授業に臨んでおり、学級経営や生徒指導が充実している様子が伺えました。

大会の合間には、香深井小学校での昆布の養殖の取組に関する説明が全校児童から参加者にあり、育てた「香小コンブ」が助言者も含めた参加者全員にプレゼントされました。全員が笑顔になったことは言うまでもありません。

宗谷管内教育研究大会としては、9月28日（金）と29日（土）の2日間に渡り、3つの小学校と2つの中学校で18の研究授業・研究協議が行われ、来賓・講師・助言者や礼文町の教職員も含めると約300名が参加しました。午後には4つの講座が開催され、「ネットトラブル防止」「学級集団づくり」「コーチング」「外国語活動のアクティビティ」について参加者は理解を深めました。現地実行委員会の皆様には貴重な研修の機会を設けていただき、大変有意義な学習の場となりました。ありがとうございました。



【1・2年 算数】
(1年生への直接指導の様子)



【1・2年 算数】
(2年生への支援員による指導の様子)



【3・4年 国語】
(体育館で実施)



【5・6年 算数】
(5年生への直接指導の様子)



【3・4年国語 研究協議】
(グループ協議の内容の発表の様子)



【参加者に配付された香小昆布】